


株式のご案内

事業年度 1月1日～12月31日
定時株主総会 3月開催
剰余金の配当基準日 12月31日(中間配当を行う場合は6月30日)
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合(特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更およびマイナンバーのお届出などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	当社の特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行へお問い合わせをお願いします。 みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
未払配当金、その他当社株式関係書類についてのお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせをお願いします。	
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。
株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い	・株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・お届出が済んでいない株主様は、上記お問い合わせ先へマイナンバーのお届出をお願いします。	

公告方法 電子公告(<https://www.soir.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

証券コード 8040(東証スタンダード市場)

【単元未満株式(1～99株)の買取制度のご案内】

- お手続き方法
単元未満株式が記録されている口座によってお手続きの窓口が異なりますので、ご注意ください。
- ①証券会社の口座に記録されている単元未満株式
お取引口座のある証券会社(口座管理機関)にお問い合わせください。
 - ②特別口座に記録されている単元未満株式
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部(特別口座の口座管理機関 兼 株主名簿管理人)にお問い合わせください。

お客様相談室 *Customer Service*

お客様からいただいたお一人おひとりの声を大切に、迅速な対応を心掛けております。いただいたご意見は、さらにお客様に愛されるフォーマルウェアをお届けするために商品やサービスへと反映しております。

03-4531-9880

(土・日・祝日を除く 10時～17時)

ホームページのご案内 *Corporate Site*

当社の最新情報、IR情報など、情報満載のウェブサイトです。



<https://www.soir.co.jp/>

公式SNS *Social Media*

フォーマルシーンに関する情報や新作のお知らせなどを、いち早く紹介しています。

● Twitter

@tokyo_soir



● Facebook

@tokyosoir



● Instagram

@tokyosoir_official



株式会社 東京ソワール

本社 〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-12
TEL.03-4531-9881(代)



PROJECT-
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCO₂は
PROJECT-With the Earth を
通じてオフセット(削減)しています。



Business Report 2022

Formal Beauty

礼儀正しく、私らしく。

株式会社 東京ソワール

第54期中間 ビジネスレポート

2022年1月1日～2022年6月30日

証券コード:8040

■第54期 当第2四半期累計期間の概況

当第2四半期累計期間(2022年1月1日～2022年6月30日)における日本経済は、新型コロナウイルスの感染者減少もあり景気は持ち直しの動きが見られますが、資源価格の高騰、急激な円安進行などから、先行き不透明な状況が続いております。

当アパレル業界におきましては、本年3月のまん延防止等重点措置の解除後は個人消費の回復傾向が見られるものの、一方では物価上昇による影響から消費マインドの冷え込みが懸念され、厳しい状況が想定されます。

このような経営環境の中、当社は当会計年度を初年度とする中期経営計画に基づき、事業継続のための「効率的な財務体質の構築」と持続的な成長を実現するための「新たな収益構成の構築」、加えてデジタルシフトや地球環境問題への配慮をはじめとす

る「社会環境変化への対応」に取り組んでおります。

卸売事業におきましては、継続して取引条件の改善や不採算店舗からの撤退を進めるとともに、一部店舗をフォーマルセレクトショップへ転換しております。小売事業におきましては、直営店「フォルムフォルマ」は、商業施設における集客の回復やデジタル活用によるプロモーションが奏功したことから堅調に推移し、Eコマース販売は、自社ECサイトにおけるお客様の利便性向上への取り組みを継続することで売上を拡大しております。また、新規事業であるライフスタイルブランド「kuros'」につきましても、引き続き事業拡大に向けて取り組んでおります。

なお、第1四半期会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。このため、前第2四

半期累計期間と収益認識に関する会計処理が異なることから、以下の経営成績に関する説明において増減額及び前年同期比較(%)は記載せずに説明しております。

このような結果、商品別の売上高は、ブラックフォーマルが47億69百万円(前年同四半期は39億24百万円)、カラーフォーマルが14億9百万円(同10億71百万円)、アクセサリー類が11億70百万円(同8億86百万円)、当期の売上高は、73億49百万円(同58億82百万円)となりました。

利益面では、ブラックフォーマルの売上増加に加え、製造コストの維持・削減に努めたこともあり、売上総利益率は51.1%となり、売上総利益は37億53百万円(前年同四半期は28億円)となりました。販売費及び一般管理費は、店舗の営業状況が通常に戻ったことによる販売促進費や店舗賃借料の増加、

フォーマルセレクトショップへの転換及び新規事業「kuros'」の販売促進費の増加はありましたが、店舗閉鎖や不採算店舗の見直し等による人件費の減少もあり、全体では33億71百万円(同34億32百万円)となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、営業利益3億81百万円(前年同四半期は営業損失6億32百万円)となり、経常利益は4億46百万円(前年同四半期は経常損失5億31百万円)、四半期純利益は4億44百万円(前年同四半期は四半期純利益10億35百万円)となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

